

第七十回帝國議會
衆議院

アルコール專賣法案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

アルコール專賣法案(政府提出)

會議

昭和十二年三月十二日(金曜日)午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 平川松太郎君

理事野田武夫君 理事信太儀右衛門君

理事岩瀬 亮君

篠原 陸朗君 山本 厚三君

大石 倫治君 東條 貞君

大本貞太郎君 三善 信房君

寺田 市正君 今給黎誠吾君

佐竹 晴記君 福田 耕君

出席政府委員左ノ如シ

專賣局長官 荒井誠一郎君

專賣局部長 花田 政春君

陸軍少將 山脇 正隆君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林技師 間部 彰君

燃料研究所技師兼商工技師 伴 義定君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

「アルコール」專賣法案(政府提出)

○平川委員長 是ヨリ開會致シマス、前回

資料ノ提出ノ要求ガアツタノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ノ方デハ書面ニシテ提出スルモノモアルシ、又今日此處デ説明シタイト云フ部分モアルサウデアリマスカラ、先ヅ其部分ニ付テ説明ヲ聽イテ、序ニ燃料研究所長ガオ見エニナツテ居ルサウデスカラ、所長ノ御意見ヲ聽カウト思ヒマスガ如何デスカ、御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○平川委員長 デハ左様ニ取計ヒマス

○荒井政府委員 前回ノ會議ニ於キマシテ、色々資料ノ御要求ガアツタノデアリマスガ、出來ルダケハ書面ニシテ御手許ニ差

出シマス、尙ホ其中デ、書面ニ致シマスト長イ文章ニモナリマシテ、此席デ御説明ヲ致シタ方ガ適當デアルト考ヘラレルモノガアリマスノデ、御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ「アルコール」ノ製造工場ノ設置ノ方針トカ、或ハ初年度ノ工場ノ豫定地、又次年度以降ニ於ケル設置ヲ致シマス計畫デゴザイマスガ、是ハ一應御説明ヲ致シタ方ガ宜シイト思ヒマスカラ、茲ニ申述ベマス、「アルコール」ノ製造工場ノ設置ノ方針

ト致シマシテハ、政府ニ於キマシテ各地方ニ工場ヲ設ケテ製造スルト云フ計畫ヲ立ツタノデアリマスガ、然ラバ其設置スルニ當ッテ如何ナル方針ヲ執ルカト云フコトヲ申上ゲマスト、是ハ度々説明ヲ致シテ居リマスル通り、農村對策ノ關係カラ、出來ルダケ地方ニ分散セシムル方針デアリマス、サウシテ其具體的ノ設置地方ハ、原料關係、ソレカラ、交通ノ便利、此工場ニハ非常ニ水ガ澤山要リマスノデ、用水ノ關係、又ハ排水等ノ處理ガ必要デアリマスノデ、排水等ノ關係等ヲ考慮シテ、決定致シタイト思ヒマス、尙ホ政府工場以外ニ、此法律デハ民間工場デモ製造スルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、現在無水「アルコール」ヲ製造致シテ居リマスル工場ニ對シマシテハ、能力ノ許ス限リ製造シテ貰フ方針デアリマス、又新シク適當ナル製造者ガアリマスレバ、是モ原料關係等ヲ考慮致シマシテ、製造ヲ委託スル方針デアリマス、斯ノ如クシテ出來ルダケ早ク多量ノ無水「アルコール」ヲ、造リタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ今後ニ於

テ設置スベキ工場デアリマスガ、政府ノ工場ヲドノ位ノ範圍ニスルカト云フコトハ、民間工場ノ能力ノ問題ニモ關係スルノデアリマスガ、大體政府ニ於テ之ヲ造ルト致シマシテ、昭和十八年度マデニ無水「アルコール」ヲ百六十萬石ヲ、製造スル能力ヲ有スル工場ヲ造ルノデアリマスガ、若シ之ヲ小サイ二萬石位ナ工場ニ致シマスレバ、八十工場要ルノデアリマスガ、併シ是ハ原料產地ノ關係、原料等ニ依リマシテ、或ハ其規模ハモウ少シ大キクスルコトモ出來マセウシ、又二萬石ナラ二萬石ノ單位ノモノヲ、一ツ地方ニ澤山造ルト云フコトモ出來マセウカラ、其工場數ヲ如何ニスルカト云フコトハ、是ハ今日マダ未定デアリマス、工場ノ能力ハ十八年度マデニ百六十萬石ニナルト云フコトニ致シテ、計畫致シテ居リマス、而シテ年々ノ計畫ハ原料ノ増產計畫ニ非常ニ關係ガアリマスカラ、其關係ヲ能ク見マシテ、是ト歩調ヲ合セテ毎年度豫算デ其工場ノ數ヲ決定シタイ、又其規模モ決定スルコトニ致シテ居リマス、初年度ハ然ラバ幾ラノ工場ヲ造ルカト申シマスト、豫算ニ於キ

マシテハ、大體二萬石ノモノヲ七箇所設置

スルコトニ致シテ居リマス、併シ最近ニ於

テ鐵材ガ非常ニ騰貴致シマシタ關係デ、此

箇所ハ減ラサナケレバナラヌト考ヘテ居リ

マスガ、今折角調査中デアリマス、其設置

地方ニ付キマシテハ、初年度ニ於キマシテ

ハ、甘藷ノ主産地方ニ設置スル方針デアリ

マス、具體的ノ場所ニ付テモ折角調査中デ

アリマス、尙ホ原料ノ蒐集見込高ト云フ資

料ノ御要求ガアツクデアリマスガ、是ハ農

林當局カラ御説明ヲ願フコトニ致シマス

○間部農林技師 原料ノ蒐集見込高デアリ

マスガ、書類デ差上ゲテ置キマシタガ、芋

ノ栽培面積二千町歩以上ノ地方ノ中カラ、

三千町歩以上ト云フモノヲ差當ッテ取ッテ參

リマシテ計算シタノデアリマス、是ハ各府

縣ニ照會ヲ致シマシテ、見込高ヲ調べマシ

タモノデアリマス、甘藷ニ於キマシテハ、

昭和十二年ニ一億四千四百萬貫、十三年ニ

二億三千七百萬貫、十九年ガ五億六十萬貫、

馬鈴薯デアリマスガ、十三年ガ一億七千萬

貫、十九年ガ三億九千萬貫ト云フコトニナ

リマス、是ハ只今申上ゲタヨウニ、甘藷ト

シテハ三千町歩以上ヲ栽培致シテ居リマ

ス府縣ニ付テノ蒐集見込デアリマス、馬鈴

薯ニ於キマシテハ、是ハ東北六縣ト北海道

ニ付テノ調べデアリマス

○佐竹委員 府縣別ハ分リマセヌカ

○間部農林技師 ソレハ後カラ一ツ又申上

ゲルコトニ致シマス

○平川委員長 縣別ノモノヲ成ベク早く出

シテ戴キタイと思ヒマス——次ニ燃料研究

所長カラ御説明ガアリマス

○伴商工技師 「アルコール」ノ中ニ從來工

業用トシテ九十四五度位ノ「アルコール」ガ

アリマス外ニ、無水「アルコール」ト云フヤ

ウナモノヲ燃料用ニ考ヘテ居ルト云フコト

ニ付テ、無水「アルコール」ダケガ燃料用ニ

ナルカト云フヤウナ、御話モアルヤウダカ

ラ、御説明スルヤウニト云フコトデゴザイ

マスガ、御承知ノヤウニ「アルコール」ハ燃

料ニ致シマス場合カラ申シマスレバ、勿論

「アルコール」ノ純度ガ良イ程良イノハ當然

デゴザイマシテ、出來ルダケ純度ノ良イモ

ノヲ使フト云フヤウナコトガ、考ヘ得ル譯

デゴザイマスケレドモ、併シ製造工程ノ方

カラ考ヘテ見マスト、「アルコール」ハ御承

知ノヤウニ普通ノ蒸溜法デ造リマス場合ニ

ハ、精々九十四五度以上ノモノハ出來ナイ

ノデアリマシテ、無水「アルコール」ヲ造ル

ト云フコトニナリマスト、特殊ナ脫水法ヲ

講ジナケレバナラヌ譯デゴザイマス、サウ

云フ譯デゴザイマスカラ、航空機トカ其他

ノヤウナ特ニ性能ヲ要スルヤウナ場合ニ

ハ、ドウシテモ無水「アルコール」ヲ使ハナ

ケレバナラヌト云フコトハ當然デアリマス

ケレドモ、自動車其他ノ場合デアリマシタ

ラバ、多少水分ヲ含シ居ル關係上、性能ガ

低クアリマシテモ、無水「アルコール」ヲ造

ルト云フコトヨリモ、若シモ安價ニ造リ得

ルナラバ、法律上影響ノナイ程度ノ水分ヲ

含シテ所謂從來ノ工業用「アルコール」ト稱

シテ居ル九十四五度以上ノモノヲ、燃料ニ

使フト云フコトハ、一向差支ノナイコトデ

ゴザイマシテ、唯從來是ガ餘リニ行ハレマ

セヌデシタ理由ハ、工業用「アルコール」ヲ

「ガソリン」ト混ゼマス際ニ、中々混リ惡イ、

混ゼテモ分レ易イト云フヤウナ缺點ガアリ

マシテ、サウ云フ缺點ヲ除去スル爲ニ、從

來「ベンゾール」トカ、或ハ「アミル・アルコ

ール」、或ハ「シクロヘキサノール」ト云フ

ヤウナ色々ナ藥品ヲ混ゼルコトガ研究サレ

テ居リマシタケレドモ、斯ウ云フヤウナ藥

品ハ生産トカ、或ハ價格ノ點ニ於キマシテ

廣ク用ヒルコトガ出來マセヌノデシタガ爲

ニ、自然混合ヲ容易ニスル爲ニ無水「アル

コール」ヲ使フト云フコトニ進シテ來テ居

ル譯デゴザイマス、併シ其後色々研究ヲ進

メテ居リマス結果ト致シマシテ、九十四五

度位ノ「アルコール」ヲ「ガソリン」ト混合ス

ル場合デモ、適當ナ安定劑ト云フモノガ段

段出來テ參リマシテ、而モソレガ將來ニ於

テハ餘リ高價デナク手ニ入り得ルヤウナ、

又多量ニ生産シ得ルヤウナ豫想モ付イテ來

テ居ルヤウニ思フノデゴザイマス、ソレハ

ドンナモノカト申シマスト、大體ニ於キマ

シテ低溫乾餾カラ出テ參リマス低溫「ター

ル」ノ水素ヲ添加致シマシタモノヲ利用ス

ル譯デアリマスガ、サウ云フヤウナモノハ

現在ニ於キマシテハ、マダ人造石油工業ト

云フモノガ殆ドナイノデアリマシテ、マダ

實際上ニ之ヲ使用スルト云フ所マデハ行ッ

テ居リマセヌケレドモ、只今ノ人造石油工

業ト云フモノモ、獎勵サレント致シテ居リ

マス關係カラ見マシテ、將來ニ於キマシテ

ハ、サウ云フヤウナ安定劑ガ割合ニ安價ニ、

豊富ニ生産サレ得ルノデハナイカト考ヘテ

居ル譯デアリマシテ、若シサウ云フヤウナ

生産ガ出來テ參リマスレバ、用途ニ依リマ

シテハ必ズシモ無水「アルコール」ヲ使用シ

ナクトモ、從來ノ工業用「アルコール」デモ

十分使ヒ得ルト云フコトニナル譯デアリマ

シテ、結局ノ問題ハ無水「アルコール」ヲ

使ッテ配合シテ行ク方ガ宜イカ、或ハ安定劑

ノ相當效果ノアルモノヲ用ヒテ工業用「アル
コール」ヲ其儘使フデ、特殊ナ無水「アル
コール」ノ工程ヲ經ナイデ行ク方宜イカ
ト云フコトニナル譯デアリマシテ、此點ハ
將來ノ經濟問題其他カラ考究サレテ來ル間
題ダト思フノデアリマスガ、使用上ニ於キ
マシテハ只今申シタヤウニ、特殊ナ用途以
外ニ於テハ安定劑サヘ適當ナモノヲ得レ
バ、お互ニ用ヒテ行クノニ差支ナイト云フ
ヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○平川委員長 是カラ質問ニ入リマス、前
回松本君ガマガ質問ヲ留保シテ居ルノデア
リマスガ、今日缺席デスカラ、ソレデハ三
善君

○三善委員 私ノ質問ニ入リマス前ニ、只
今ノ燃料研究所長ノ御話下サツ點ガ稍、先
日政府ノ説明シテ下サツ點ト、少シ違ッ
ヤウナ風ニ考ヘラレマスカラ、此點ニ付テ
更ニ政府ノ御意見ヲ伺ッテ見タイト思ヒマ
ス、燃料研究所長ノ只今ノ御説明ハ學說デ
アリマスガ、或ハ研究サレタ結果ノ其御發
表ノヤウデアリマシタガ、私共ガ今日總テ
ノ法案ヲ審議スル上ニ當リマシテハ、將來
ノコトモ勿論考ヘナケレバナリマセスケレ
ドモガ、現在ニ即シタル、現在ノコトニ就
テ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、

學者ハ將來ハドウ云フノガ出來ルダラウ、
斯ウ云フノガ出來ルダラウト云フヤウナコ
トヲ言ヒマシテモ、果シテソナナモノガ出
來ルカ出來ナイカト云フコトハ、今後ノ研
究ニ俟タナケレバナリマセヌニ拘ラズ、ソ
レヲ將來恰モ出來ルカノ如キ口吻ヲ漏ラシ
テ、サウシテ此法案ヲ審議スルト云フヤウ
ナコトハ、之ヲ政策ノ上カラ言ッテモ必ズシ
モ適當デナイト思ヒマス、此點ハ特ニ御含
ミ置キヲ願ッテ、私ノ質問ニ對シテ答辯ヲ願
ヒタイト思ヒマス、先日ハ此委員會ニ於キ
マシテ、政府當局ノ御説明ハ單體デ使用ガ
出來ル、九十五度デ使用出來ル、ケレド
モソレハ揮發油ノ一倍半ヲ要スル、殊ニ今
日印度アタリデハ、ソレヲヤッテ居ル、熱帶
地方デハソレヲヤッテ居ル、サウ云フ御話デ
アリマス、私ハ印度ノコトヲ日本ニ應用ガ
出來ルトモ考ヘテ居リマセズ、又將來ノコ
トヲ考ヘテ國防上ノ見地カラ申シマスル
ト、熱帶地方ノコトヲ今頭ノ上ニ於テ考ヘ
ル必要モナイコト、思ヒマスカラ、是ハ所
謂机上ノ空論ダケデ、出來ルノハ出來ルデ
アリマセウケレドモ、實際問題トシテ我國
ニ應用ガ出來ナイト云フコトニナレバ、ソ
レハ何等ノ價值モナイ議論ナノデアリマ
ス、併シ今デハ單體デ揮發油ノ一倍半ヲ要

セズトモ九十五、九十六ノ含水「アルコー
ル」ガ使用出來ル、斯ウ云フヤウナ御話モア
リマシタノデ、此點ガ先日ノ御説明ト違ッ
テ居ルヤウデアリマス、若シ私共ガ假ニ單
體デ使用ガ出來ルトシマシテモ、「ガソリ
ン」ノ値段ヨリモ更ニ高イ含水「アルコー
ル」ヲ一倍半モ入レルヤウニシテ使フト云
フコトデハ、經濟上ノ見地カラ言ッテモ、是
ハ到底ソレニ應ジラレナイト思フノデス
ガ、而モ是ハ熱帶地方デヤッテ居ルノデア
テ、日本デハ使ヘヌト云フコトナラバ、ソ
レハ議論セヌガ宜イ、其事ハ私ハモウ申シ
マセヌ、今政府ノ説明者ノ言ハレル所デハ、
「ベンゾール」トカ或ハ「メチール・アルコー
ル」、サウ云フモノヲ入レ、バ、或ハ九十五
六度ノ含水「アルコール」デモ使ヘルト云フ
ヤウナコトヲ言ハレルガ、是ハ經濟上ノ問題
カラ出發シナケレバイカヌト思フ、果シテ
經濟上「ベンゾール」ヤ或ハ「メチール・アル
コール」ヲ入レテ、經費ガ引合ッテ行クカド
ウカ、無水「アルコール」ヨリ安クツクカド
ウカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、ソ
レガ高イモノダッタラ、幾ラ議論ナサッデモ
何モナラヌ、ソナナ議論ハ私共ハ聞キマセ
ヌ、ソレカラ又今安定劑ガ將來安價ニシテ
豊富ニ出來ルカモ知レナイ、サウ云フコト

ヲ言ハレマスケレドモ、安定劑ガ今日ナイ
ノニ、將來ノコトヲ見越シテ今此處デ現實
ノ問題ヲ研究スル譯ニハ行キマセヌ、サウ
云フコトデ如何ニモ當局ノ言ハレルコト
ハ、現在ノ事トカ或ハ經濟上ノ事ヲ考ナシ
ニ、唯何カ調査研究シテ居ラレル、其學者
ノ研究シタ机上ノ空論ヲ茲ニ言ハレルダケ
ノコトデ、ソナナコトデハ私共ハ迷惑千萬
デアル、モット實際問題ニ付テ御話ヲ下サ
ヌト、洵ニ私共ハ審議上ニ困リマス、尙ホ
先日御話ナサレマシタ點トモ、其點ニ於テ
相違ノ點ガアルヤウデゴザイマス、是ハ政
府ノ方デ考ヘラレタカモ知レナイ、此間ノ
委員會デハ、含水「アルコール」ヲ一緒ニ取
扱フコトハ、徵稅上ノ便宜ト云フコトニ結
論ガナッテ居ッタノデス、ソレヲ何カ考ヘテ、
窮餘ノ一策トシテ、今日ハ又含水「アルコ
ール」ヲ必要ダト云フ風ニ説明ヲサレルノ
デハナカラウカト思ッテ居リマス、ソナナ
コトハ成ベク虚心坦懷ニ御話シ戴イタ方ガ
宜イト思フ、先日ハ無水「アルコール」ハ含
水「アルコール」ノ方ニ利用ガ出來ルケレド
モ、含水「アルコール」ヲ無水「アルコー
ル」ノ方ニハ利用出來ヌ、斯ウ云フコトヲ明ニ
言ッテ居ラレル、經濟上ノ問題ヲ離レテナラ
宜シウゴザイマス、併シ經濟上ノ問題ヲ茲

ニ入レテ研究スル時ニハ、今ノ御話ハ何等私共ハ價值ノナイコトダト思ヒマスガ、モット十分ニソナ安定劑ヲ使ヘバ、今日直チニ利用ガ出來ル、其處マデ研究ガ行ッテ居ルカドウカ、其點ニ付テ御意見ヲ承ッテ見タイ、若シサウデアッタナラバ、此間ノ説明ハ取消シテ貰ハナケレバナラヌト思ヒマス

○新井政府委員 前回ノ説明ニ於キマシテ、陸軍ノ方カラ御話ガアリマシタ際ニモ、燃料研究所ニ於テモ相當ノ研究ヲシテ居ルト云フコトハ、仰シヤッテ居ルノデアリマシテ、或ハ専門家各々其立場カラ、自分ノ研究ダケノ範圍ニ於テ遠慮シテ話ヲサレテ居ルト云フ點カラ、或ハ只今ノヤウナ御印象ヲ得ラレタカモ知レマセヌノデスガ、燃料研究所ニ於テモ、十分ニ研究シテ居ルト云フ御話モアッタノデアリマス、又ソレハ單體トシテ使ヘルト云フコトハ、内地ニ於テモ有時ノ場合ニハ、單體デ使ヘルト云フ御説明モアット思ヒマス、唯ソレハ餘計ニ「アルコール」ガ要ルト云フ御説明デアッタノデアリマス、ソレデ今日ハ燃料研究所ノ方カラノ御説明ガアッタノデアリマス、尙ホ只今經濟的ノ問題ニ付テモ御説明ガアルト思ヒマス、ドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○伴商工技師 只今御話ガアリマシテ、單體デ使フト云フコトニ對シテ、私ノ今申上ダコトニ付テ喰違ヒガアルヤウナ御話ガアリマシタガ、或ハ言葉ガ足りナクテ御分リ惡カッタカト思ヒマスケレドモ、單體トシテ「アルコール」ヲ用ヒマス場合ニハ、九十四度乃至五度ノ「アルコール」デ十分デゴザイマス、是ハ内地デモ試験シタコトモアリマスシ、又臺灣邊リデハ實用ニ使ッタ經驗モアル譯デアリマス、勿論其消費量ガ殖エルト云フコトハアリマスケレドモ、使用ニハ差支ナイ譯デアリマス、唯サウ云フヤウナ風ニ單體デ用ヒマス場合ニハ、消費量ガ殖エタリ何カスルシ、又寒イ氣溫ノ時ニハ使ヘナイト云フヤウナコトガアリマスノデ、「ガソリン」ニ混ゼテ使フ方ガ、實用上支障ナシニ使ヘルト云フノデ、大體一割トカ二割ト「アルコール」ヲ「ガソリン」ニ混ゼテ使フ場合ガ、考ヘラレルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ場合ナラバ「ガソリン」其モノヲ用ヒマスノト、操作ニ於キマシテモ、消費量效率ニ於キマシテモ、有ユル點ニ於テ殆ド遜色ナシニ兩者使ヘル譯デアリマス、「ガソリン」ノ中ニ一二割混ゼル場合ニ、普通ノ工業用「アルコール」ハ能ク混ザラナイト云フ點カラ出發シテ、御話申上ダ

タダケデアリマス、勿論「アルコール」ダケヲ單體ニ用ヒマス場合ノコトデアリマスレバ、九十四五度ノ「アルコール」デ、氣溫ノ餘リ低イ時デナケレバ、十分使ヒ得ル譯デアリマス

○三善委員 ソレデヤ尙ホ研究所長ニ質問シマスガ、單體デ使ヒマスレバドノ位ノ割合デ——割合ト云フノハ普通ノ揮發油ノ何倍位デ消費サレテ行キマスカ、勿論氣溫ノ高イ時ト低イ時ハ違ヒマセウ、又氣溫ガドノ位ノ時マデハ使ハレテ、ドノ位ノ時ニナルト使ハレナイカ、斯ウ云フコトハ試驗ノ結果分ッテ居ルコト、思ヒマス、尙ホ前ニ私ガ申シマシタ如ク、經濟上ノ見地カラ考ヘテ見ナケレバナラヌノデアリマシテ、工業用「アルコール」ニ「ベンゾール」トカ「メチール・アルコール」等ノ安定劑ヲ使フコトニ依ッテ、經濟價值ハドウ云フ風ニナルノデアリマス

○伴商工技師 工業用「アルコール」ヲ單體トシテ自動車ニ用ヒマス場合ニハ消費量ハ容積デ申シマス、只今申シマシタヤウニ約四五割増加致シマス、是ハ熱量ノ關係カラ當然サウナル譯デアリマシテ、實際ノ試驗ノ結果デモ、ヤハリ四五割増加致シテ居リマス、ソレカラ又單體デ「アルコール」ヲ

使フトキニ、氣溫ハドノ位マデ使ヘルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ要スルニ問題ハ始動ガ「アルコール」ノ場合ニハ困難デアルガ爲ニ、氣溫ノ餘リ低イ時ニハ始動ニ困リマス、デアリマスカラ始動ニ際シテ適當ニ煖メルトカ何トカノ方法ヲ取リマスレバ、相當低イ溫度マデ使ヘルノデアリマスガ、特殊ナサウ云フ煖メルコトヲ考ヘナイデ、普通市内デ自動車ヲ動かシテ居ルヤウナ事情ノ儘デ用ヒマス場合ニハ、大體ニ於テ氣溫ガ攝氏ノ六、七度近所マデナラバ、餘リ問題ナシニ行ケル譯デアリマス、ソレカラ低クナリマスト使ヒ惡クナルト云フコトハ事實デアリマス

○三善委員 モウ一ツ最後ニ御聞キシマスガ、含水「アルコール」ニ「ベンゾール」トカ「メチール・アルコール」其他ノモノヲ入レタ時ノ經濟價值ハドウナリマス

○伴商工技師 大體ニ於キマシテ現在「モーター・ベンゾール」ト云フモノガ市中ニ出デ居リマスガ、「モーター・アルコール」ト云フノハ大體ニ於テ「ガソリン」トサウ大キナ値段ノ開キハナイ、之ヲ混ゼテ行キマス場合ニハ、現在デモソナニ經濟的ニ困ラナイデ、工業用「アルコール」ヲ混ゼテ使フトガ出來ルガ、唯量ノ點ニ於テ現在ニ於テ

タダケデアリマス、勿論「アルコール」ダケヲ單體ニ用ヒマス場合ノコトデアリマスレバ、九十四五度ノ「アルコール」デ、氣溫ノ餘リ低イ時デナケレバ、十分使ヒ得ル譯デアリマス

○伴商工技師 工業用「アルコール」ヲ單體トシテ自動車ニ用ヒマス場合ニハ消費量ハ容積デ申シマス、只今申シマシタヤウニ約四五割増加致シマス、是ハ熱量ノ關係カラ當然サウナル譯デアリマシテ、實際ノ試驗ノ結果デモ、ヤハリ四五割増加致シテ居リマス、ソレカラ又單體デ「アルコール」ヲ

使フトキニ、氣溫ハドノ位マデ使ヘルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ要スルニ問題ハ始動ガ「アルコール」ノ場合ニハ困難デアルガ爲ニ、氣溫ノ餘リ低イ時ニハ始動ニ困リマス、デアリマスカラ始動ニ際シテ適當ニ煖メルトカ何トカノ方法ヲ取リマスレバ、相當低イ溫度マデ使ヘルノデアリマスガ、特殊ナサウ云フ煖メルコトヲ考ヘナイデ、普通市内デ自動車ヲ動かシテ居ルヤウナ事情ノ儘デ用ヒマス場合ニハ、大體ニ於テ氣溫ガ攝氏ノ六、七度近所マデナラバ、餘リ問題ナシニ行ケル譯デアリマス、ソレカラ低クナリマスト使ヒ惡クナルト云フコトハ事實デアリマス

○三善委員 モウ一ツ最後ニ御聞キシマスガ、含水「アルコール」ニ「ベンゾール」トカ「メチール・アルコール」其他ノモノヲ入レタ時ノ經濟價值ハドウナリマス

○伴商工技師 大體ニ於キマシテ現在「モーター・ベンゾール」ト云フモノガ市中ニ出デ居リマスガ、「モーター・アルコール」ト云フノハ大體ニ於テ「ガソリン」トサウ大キナ値段ノ開キハナイ、之ヲ混ゼテ行キマス場合ニハ、現在デモソナニ經濟的ニ困ラナイデ、工業用「アルコール」ヲ混ゼテ使フトガ出來ルガ、唯量ノ點ニ於テ現在ニ於テ

サウ云フモノガ餘リ餘計出テ居リマセヌ、
「モーター・ベンゾール」ノ市場ニアリマス
範圍内ニ於テ使ヘルト云フコトデアリマ
ス、ソレカラ其外ノモノトシマシテ「アミ
ル・アルコール」ノヤウナモノヲ申上ゲマシ
タガ、是ハ今餘リ生産モアリマセヌシ、値
段モ安クアリマセヌカラ、現在デハ燃料方
面ニ向ケル程餘リ樂デハナイト思ヒマス、
將來ノコトヲ申シマシテハ何デゴザイマス
ケレドモ、低溫「タール」ノ水素カラ出テ來
ルモノハ、是ハ大體經濟的ニ進ミ得ルヤウ
ニ考ヘラレマス

○三善委員 サウシマスト、今現在ノ問題
トシテ「ベンゾール」ヲ入レルニシマシテ
モ、其量ハ餘リナイ、ソレカラ何カ其他ノ
安定劑ヲ使フテモ、ソレハ將來ノ問題デ、今
ハ其處マデ進ンデ居ナイ、私共ガ現在考ヘ
ル上ニ於テハ、サウ云フモノハ考ノ外ニ置
イテ、此法案ヲ審議シナケレバナラス、サ
ウ云フマダ出來ナイモノヲ頭ノ中ニ描イテ
此法案ノ審議ニ入ルト云フ譯ニハイカスト
思ヒマス、是ハアナタガ研究シテ下サルコ
トハ國家ノ爲ニ喜バシイコト、思ヒマスケ
レドモ、現在ノ問題トシテハ、折角ノ御説
明デゴザイマスガ、私ノ審議ノ上ニハ餘
リ效果ハナイヤウニ思ヒマス、尙ホ單體デ

使用スレバ約一倍半ト云フノデアリマシ
テ、攝氏ノ六七度マデハ使用ガ出來ル、ソ
レ以上ハ自動車ニ特殊ナ設備ヲシナケレバ
イカスト云フヤウナ御意見デアリマシタ
ガ、一倍半ノ多量ノ含水「アルコール」ヲ使
フト云フコトニナリマスレバ、是モ經濟上
ノ問題カラ考ヘテ行キマスレバ、經濟上引
合ハヌト云フコトニナリマセウカラ、何モ
含水「アルコール」ノ燃料ト云フコトニ付キ
マシテハ、私共ガ考ヘテ居ッタヤウニ、ヤハ
リ別ニ燃料問題トシテハ、サウ大ナル價值
ヲ持ッタモノデナイト思フ、勿論一朝有事ノ
際ニ於テハ、是ハドシナコトガアッテモ何
デモ彼デモ使ッテ行カナケレバナライモ
ノデアルガ、平時ノ場合ニ、自動車ニ於テ
經濟上ノ見地カラ考ヘマスレバ、含水「ア
ルコール」ハ燃料問題トシテハ別ニ價值ナ
キモノデアル、斯ウ云フヤウニ考ヘラレマ
ス、ソレニ對シテハドウ云フ風ニ御考ニナ
リマスカ

○荒井政府委員 含水「アルコール」ガ若シ
燃料ニ使ヘマスレバ、是程有利デアリ且ツ
適當ナモノハナイト云フコトハ、申スマデ
モナイコトデアリマスガ、此燃料問題全體
ト致シマシテ、一方ニ於キマシテ石炭油化
ノ工業ヲヤラナケレバナラス、人造石油ノ

工業モ起サナケレバイカヌ、是ハ將來ト申
セバ將來ノ問題デアリマスケレドモ、現ニ
ソレヲ遂行シナケレバナラヌト云フコトニ
ナッデ居ルノデアリマス、若シ其工業ニ伴ヒ
マシテ、或ル適當ナル安定劑ガ出來ルト云
フコトデアリマスレバ、ソレハ將來ト申シ
マスケレドモ、一方ノ政府ノ政策或ハ獎勵
方法ニ伴ウテ、當然出來テ來ルモノト思ヒ
マスカラ、相當確實ナモノデアルト見テ宜
シイト思フノデアリマス、若シ其モノガ此
方ノ燃料用ノ「アルコール」ニモ利用出來ル
ト云フコトニナリマスレバ、餘程操作モ經
濟ニ行キマスシ、「アルコール」ヲ燃料ニ混
ゼル、「ガソリン」ニ混ゼルト云フ問題モ、
經濟的ニモ解決出來ルト思フノデアリマス
ガ、法案ヲ審議スルニ當ッテ、今日ノ現實ノ
問題ヲ見テヤルカ、多少將來ノコトマデ考
ヘテヤルカ、吾々トシマシテハ、幾分デモ
將來ノコトヲ見テ、又相當ニ將來ノコトヲ
考ヘテ法案ヲ制定スルト云フコトガ、適當
デハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス

○三善委員 只今ノ御説明ガアリマシタカ
ラ、又申上ゲマス、私ハ必シモ現在バカリ
デ考ヘテ法案ヲ審議スルト云フコトニ、限
定ハシテ居リマセヌ、勿論將來ノコトモ考

ヘナケレバナラヌト云フコトハ、最初ニ話
シテ置キマシタ、併シ唯學者ノ机上ノ空論
ノ如キハ、ソレマデ織込ンデ考ヘルベキモ
ノカドウカ、是ハ大イニ研究シナケレバナ
ラヌコト、思ヒマス、今他ニ適當ナ安定劑
ガアルト言ハレマスケレドモ、ソレナラ其
安定劑ガ果シテ立派ニ完成出來ルカドウカ
ト云フコトノ試験モアリ、研究モ濟ミ、サ
ウシテソレガ經濟上引合フト云フコトマ
デ、立派ニ私共ガ十分諒解シ得ラレルモノ
デアッタナラバ、是ハ大イニ考ヘナケレバナ
ラヌガ、今申上ゲマシタ通り、燃料ノ處置
ヲ執ルニ對シテ、十分大イニ研究シテ下サ
ルコトハ、國家ノ爲ニ宜シイ、研究ハシテ
下サイ、併シ今是ガマダ十分ノ見透シガ付
カヌ場合ニ、私共ガ此處デ法案審議ノ上ニ
ソコマデ織込ンデ行クコトハドウカ、現在
トシテハ無水「アルコール」ノ問題ハ、燃料
問題トシテハ、サウ別ニ價值アルモノデハ
ナイ、斯ウ云フ風ニ申上ゲタノデアリマ
ス、將來ノコトハ、是ガ價值アルヤウニナ
ルカモ知レマセヌガ、現在ハマダ實際的ニ
使用モシテ居ナイ、利用モサレテ居ナイト
云フコトデアリマスカラ、燃料問題トシテ
ハ、含水「アルコール」ハ現在ノ場合ニ於テ
ハ價值ノナイモノデハナイカ、斯ウ云フコ

トヲ申上ゲタ譯デス、其點ハ一ツ誤解ノナイヤウニ願ッテ置キマス

○平川委員長 一寸、三善君ニ相談シマスガ、關聯事項トシテ、先程山本君カラ質問ノ申出ガアリマシタカラ山本君ニ……

○山本委員 其問題ハ、私ハ濟ミマシタ

○大石委員 一寸、關聯シテ

○平川委員長 ソレデハ、ドウゾ

○大石委員 三善君ノ今ノ質問ニ依ッテ、稍明ニナッタヤウニハ存ジマスルガ、モウ少シ確メテ置キタイと思ヒマス、此法案ノ一番ノ中心目的ハ、含水「アルコール」ヲ認

メルカ、無水「アルコール」ニ限定スルカト云フ所ニ、法文ノ生命ガアルト思フノデアリマス、此點ガ一番ノ中心デアッテ、モットハッキリ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、燃料國策ノ點カラ申シマスレバ、直グ燃料ニ適スル所ノ「アルコール」デナケレバナラス、無水デアリマシテモ、含水デアリマシテモ、ソレハ宜シイノデアリマス、併シ我ガ日本ニ於キマシテハ、含水「アルコール」所謂工業用程度ノ「アルコール」デアリマシテハ、例ヘバ安定劑ガナイ限りハ燃料トシテノ使用ガ不可能ナル、其安定劑デアル所ノ「ベンゾール」トカ「アミルアルコール」トカ云フヤウナモノハ、價格ノ

上カラ、又生産量ノ上カラ十分デナイ、斯ウ云フ御話ガ一昨日ノ御説明デアッタノデアリマス、本日ハ私途中カラ伺ッタノデアリマスガ、燃料研究所長ノ御話ニ依ッテ、「ベンゾール」デアルトカ「アミル」デアルトカ云フヤウナ、生産量ノ少イ價格ノ高イ物デナシニ、安價ニシテ供給量ノ多イ安定劑ガ出來ルドラウト云ッタヤウナ御話デアリマスガ、其内ニ出來ルドラウトデハイカヌノデアリマス、只今三善君ノ申シマス通り、苟モ法案ニ付テ之ヲ決定シヨウト致シマスルニハ、ソコニ成ベク疑問ノナイコトヲ條件トシテ決メテ行カネバナラヌ、私共ガ政治的ニ斯ウ云フモノヲ扱ヒマス時ニハ、必ズ現在ヲ基準トシテ決定スベキモノデアリマス、多少將來ト云フモノモ考ヘテ置カナケレバナリマセヌ、又決シテ之ヲ除外シテハナラヌノデアリマス、ケレドモ、ソレハ考慮ノ中ニハ置キマスケレドモ、現實ノ問題ノ解決ノ上ニハ、現在ヲ基準トシテ行カネバナラヌト思フノデアリマス、若シ將來研究所長ノ仰シヤルヤウナ、安價ニシテ豊富ナル安定劑ガ、ハッキリト世ニ現ハレマシタナラバ、其時又法文ノ改正ヲ致シテモ差支ナイモノデアリマス、サウ云フ意味カラ致シマシテ、ドウシテモ是ハハッキリシテ行クト云フ方

ガ、法文ノ生命ヲ明ニスルノドラウト思ヒマス、「モーター・ベンゾール」ハ「ガソリン」ト大差ナイト申サレマスガ、其「モーター・ベンゾール」ガ國內ニ於テ十分ナル供給力ヲ持ツモノデアリマスガ、又安定劑ハドノ程度マデノ研究ガ進メラレテ、何時頃ハッキリト實用化スルト云フコトノ御發表ガ出ルモノデアリマスガ、又モウ一ツ工業用「アルコール」ノ使用ト氣溫トノ關係ガアルノデアリマス、先日技師ノ方ガ氣溫ガ高ケレバ宜シイ、含水「アルコール」ヲ用ヒタ場合ニハ爆發ガ非常ニ遅レル、デ、サウ云フ爆發モ氣溫ノ高イ所デハ差支ナイ、印度ノ如キ所デアリマスルナラバ、一年中使ハレルト、印度ノ例ヲ採ラレマシタ、日本ノ燃料研究ノ國策ノ最大目的ハ、萬一戦争ガアル場合ニ於テ、此「ガソリン」ヲ供給ガ止ッタナラバト云フ所ニアルノデアリマス、現在我ガ日本ニ於テ「ガソリン」ガ不足ヲ致シテ居ルノデハナイノデアリマス、所謂亞米利加ヲ第一ト致シマシテ、安價ナル「ガソリン」ガ豊富ニ供給サレテ居ルノデアリマス、若シ是ガ平時デアリマスルナラバ、斯様ナコトニ、斯様ナ心配ヲ致スコトハナイト思ヒマス、一旦事アル時ニ於テノコトデアリマスカラ、總テガ國內供給ノ準備ガナケレ

バナラス、其意味ニ於キマシテ「モーター・ベンゾール」デアルトカ、或ハ安定劑ノ豊富低廉ナルモノデアルト云フモノモ、實ハ是ハ國內供給ノモノデナケレバナラス、サモナクシテ燃料國策ノ研究ヲスルト云フコトハ無價値デアル、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマスカラ、此點ニ付テ將來ドウカナルドラウト云フコトデナク、政治ハ現在デアリ、實在デアリマスカラ、ソレヲハッキリシテ藏キタイ

○伴商工技師 先程來申上ゲテ居ルノガ、多少誤解ヲ受ケテ居ルヤウデアリマスガ、此安定劑ガ出來ルドラウト云フ意味デヤナイノデアリマシテ、私ノ申シマシタノハ、實用的ニ效力ノアル安定劑ガ、現在見出サレテ居ルト申シテ宜イ譯デアリマス、唯其生産ガ將來ニ互ルモノデアルト云フ意味デゴザイマス、人造石油工業ノヤウナモノガ發達シテ來マスト、相當豊富ニ生産サレテ來ルドラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、安定劑其モノニ付キマシテハ、現在效力ノアルモノガ見出サレテ居リマス

○東條委員 ソレハ何デスカ

○伴商工技師 ソレハ低溫乾餾カラ出來マス低溫「タール」ノ水素添加ヲ致シマシタ製品デアリマス

○大石委員 名前ハ付イテ居ナイノデスカ

○伴商工技師 名前ハ私ノ方デハ、ヤハリ水素添加「アルコール」ト申シテ居ルノデアリマスガ、色々混合セラレタモノデアリマス

○ニ善委員 モウ一ツ燃料研究所長ニ御尋シテ置キマス、サウシテカラ私ノ本當ノ質問ニ入りマス、水素添加ノ「アルコール」ノ生産費及ビ其石炭液化ニ依ッテ副作用カドウカ知リマセヌガ、低温乾餾ノ際ニ出來ルト云フナラバ、石炭液化ノ際ニ「ガロン」デモ宜シウゴザイマス、一石デモ宜シウゴザイマスガ、一石造ル場合ドレダケノ水素添加「アルコール」ガ生産サレルカ、此點ヲ伺ッテ置キマス

○伴商工技師 低温「タール」ノ水素添加ノ時ニ出來ル譯デゴザイマシテ、石炭液化ト申シマシテ、其石炭ヲ直接ニ行ク方法デヤナイノデゴザイマシテ、御承知ノヤウニ石炭ヲ低温乾餾シテ出來ル時ニ、一應低温「タール」ガ出來マス、此低温「タール」ト云フノハ現在デモアルノデアリマス、其低温「タール」ニモウ一遍水素ヲ加ヘテヤル仕事デアッテ、是ハ石炭液化工業ト操作ニ於テ全く同一ノ操作ヲヤッテ行ク仕事ナノデアリ

マス、サウ云フヤウナ際ニ生産サレルモノデアリマシテ、大體ヤリ方ニ依ッテモ色々違ヒマスケレドモ、先ツサウ云フ場合ニ出來マス人造「ガソリン」ニ對シマシテ、三割位ハサウ云フ「アルコール」トシテ取ルコトガ可能デアリマス

○三善委員 生産費ノ點ヲ御尋シテ居リマスケレドモ、分ラナケレバ宜シウゴザイマスガ、分ッテ居レバ此際御尋シタイト思ヒマス

○伴商工技師 生産費ハ實際サウ云フ工業ガマダアリマセヌデ、是カラヤル仕事デアリマスカラ、ハッキリドノ位ト申上ゲ兼ネマスケレドモ、大體人造石油ヲ造リマス程度ニハ行ケルモノデアリマス

○三善委員 モウ是レ以上御尋キシマセヌ、今生産費モ分ラスト云フコトデアリマスシ、又實際工業化シテ居ナイト云フコトデアリマスカラ、御尋シテモ無用デアリマスカラ、此點ハ是デ御尋キシマセヌ、ソレデ私ノ質問ニ移リマスガ、關聯ガアルサウデスカラ……

○東條委員 一寸關聯シテ御尋シタイノデスガ、今ノ水素添加「アルコール」ノ話デアリマスガ、私共素人ニハドウモハッキリシナイ、モウ少シハッキリ伺ヒタイト思フ、人造

「ガソリン」ヲ製造スル場合ニ於テ、特ニ之ヲ造ル目的デアレバ三割位取レルト云フノデアリマスルガ、副産物トシテ三割位出來ルト云フノデアリマスルカ、其點ヲハッキリ伺ヒタイ、ソレカラ人造「ガソリン」ノ御研究ノ現在ノ結果ガ、普通ノ「ガソリン」ト經濟的ニドウ云フヤウナ風ノ關係デアリマスルカ、ソレガ分ッテ居レバ承ッテ置キタイと思ヒマス、要スルニマダ實際ニ工業化サレテハ居ナイケレドモ、今日技術的ニ工業化シ得ル狀態ニ迄進ンデ居ルト云フ御見込ミデアリマセウカ、當分ノ所デハ經濟的企業トシテハ成立ツ見込ミガナイト云フ御考デアリマセウカ、ソレヲ伺ッテ見タイ、ソレカラ今一ツハ、是ハ技術的ノ方デアリマセヌケレドモ、若シ假ニ經濟的企業トシテ成立ハシナイガ、燃料國策ト云フ上カラ、之ニ對シテモ國家ガ何等カノ助成ヲシテ、此仕事ヲ近々實現ヲサセルト云フ御計畫デモアリマスルカドウカ、ソレヲ政府委員カラ伺ッテ見タイト思ヒマス

○伴商工技師 前段ノ技術方面ノコトダケヲ御返答致シマス、副産物トシテ取レルカドウカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ副産物トシテト云フヨリハ、操作工程ノヤリ方ニ依ッテ、人造石油ニモナリ、又サウ云フ

ヤウナ混和安定劑ニモナル譯デゴザイマシテ、必要ニ應ジテサウ云フモノヲ造ルト云フヤウナ譯デゴザイマス、ソレカラ生産費ノ御話デアリマシタガ、人造石油ヨリハ多少水素ノ使用量ガ少クテ宜イ譯デゴザイマスカラ、嚴密ニ申シマスレバ、人造石油ヨリハ安定劑ノ方ガ安ク行クダラウト云フ風ニ思ヘルノデゴザイマス、ソレハ原料ノ方面カラ見マシテノ問題デアリマスガ、併シ何レニシテモ操作ノ工程ハ殆ド同一デゴザイマスカラ、大體同ジ位デナカラウカト申上ゲタ譯デゴザイマス、人造石油其モノ、生産費ガドノ位カト云フ質問デスガ、是ハ中々難カシイ間デゴザイマス、是モ色々ナ事情デ違フダラウト思ヒマスガ、大體ニ於キマシテ、實際天然ノ石油ニ較ベマスレバ、四五割位高クナルト云フコトハ、已ムヲ得ナイデヤナイカト思ッテ居ル譯デアリマス、ソレカラ人造石油業ノ方ハ、獎勵サレルヤウニナッテ居リマスカラ、安定劑ノヤウナモノモ、サウ云フヤウナコトニナリマスレバ、同時ニサウ云フ工業ガ促進サレテ來ルト云フ風ニ、思ハレル譯デゴザイマス

○三善委員 專賣制度ニ付キマシテ、本會議ノ際ニ岩瀬君ノ質問ニ對シテ、大臣カラノ御答辯ハ、酒精ヲ專賣ニスル理由ハ、價

格ノ變動ヲ來サヌ爲ニスルト云フノガ一點
デアルシ、供給價格ヲ成ベク低廉ニスルト
云フノガ、其一ツデアルシ、又生産ヲ確保
スルト云フコトガ、其一ツデアッタと思ヒマ
ス、是ガ所謂專賣ニスル大キナ目的ダと思
ヒマス、勿論其主眼ハ國防國策ノ爲デア
リ、又延イテハ農村ノ救済ニモナルト云フ
コトモアリマシタガ、ソレニ加ヘテ、前ニ
申シマシタヤウナ御考ガアッタと思ヒマス、
勿論國防國策ノ見地カラ申シマスレバ、私
共何等之ニ對シテ不信ヲ挾ム者デモアリマ
セヌ、又農業ノ生産獎勵及ビ農業所得ノ増
進、斯ウ云フ方面カラ考ヘマシテモ、別段
異議アル筈ハナイノデゴザイマス、唯之ヲ
專賣ニスルコトガ果シテ國家ノ爲ニ適當デ
アルカドウカト云フコトニ付テ、私共ハ檢
討ヲシテ見タイト思フ譯デアリマス、價格
ノ變動ヲ來サナイ爲ニハ、政府ニ於テ民間
ニデモ何處ニデモ出來タ其製品ヲ統制スレ
バ、ソレデ價格ノ變動ハ來サナイと思ヒマ
ス、既ニ「ガソリン」ニ於キマシテモ、石油
事業法ニ依ッテ統制シテアリマシテ、其統制
ガ保タレテ居リマスカラ、「ガソリン」ノ値
段ニ高低ハアリマセヌ、別ニ價格ノ點カラ
ノミ考慮スルナラバ、其價格ノ變動ト云フ
コトノミニ考ヘマスレバ、統制ニ依ッテ價格

ノ變動ヲ防グコトガ出來ルト思ヒマスガ、
此點ハ如何ニ考ヘラレマスルカラ承リタ
イ、尙ホ供給價格ヲ低廉ニスル爲ニ、專賣
ニスルト言ハレマシタガ、ソレハ要スルニ
生産費ヲ低下スルト云フコトガ、其主要ナ
ルコトデナケレバナラヌと思ヒマス、サウ
シテ民間ニ於テ生産スルノト、政府事業ニ
於テ生産スルノトハ、色々場合ガアリマ
セウケレドモ、普通ノ場合ヲ私共ガ考ヘマ
スレバ、民間デ自由ニ造ッタ方ガ、或ハ安價
ニナリハシナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレ
ルノデアリマス、併ナガラ民間ニ於テ造リ
マシテモ、或ハ之ヲ官營ニシマシテモ、何
レニシマシテモ現在ノ「ガソリン」ノ時價デ
ハ出來ナイト云フコトハ、明瞭ナ所デア
ルと思ヒマス、ソコデ民間デ經營シマスレ
バ、之ニ對シテ助成ヲ爲サナケレバナラヌ
ト思ヒマス、又政府デヤルトシマスレバ、
政府デ損失ヲ負擔シナケレバナラヌ、要ハ
成ベク生産費ノ安ク付ク法ニ依ルコトガ、
國ノ損失ヲ少クスルト思ヒマスガ、此點ハ
果シテ民間ニ於テ現在ドレダケ出來ルカ私
ハ知リマセヌケレドモ、民間ニ於テ生産シ
テ居ル所ノモノト、政府ニ於テ官業トシテ
製造サル、モノトノ比較ヲサレタコトガア
リマスカ、其點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ、尙

ホ燃料國策トシテヤラレルトスルナラバ、
石炭液化ハ既ニ政府ニ於テハ、民間事業ト
シテ——或ハ政府モ之ニ幾ラカノ出資ヲサ
レルデセウガ、マダ明ニナッテ居リマセヌ
ガ、要スルニ民間ニ於テ會社ヲ興シテ、サウ
シテ燃料國策トシテ石炭液化ヲ目論ンデ居
ラレル、サウ致シマスレバ、今回モ同ジ燃
料國策デアルトスルナラバ、石炭液化ノヤ
ウニ、民間ト共ニ一緒ニサレタ方ガ、國策
上終始一貫シヤシナイカ、殊ニ燃料國策ト
シテ考ヘマスル場合ニ、私ハ是ハ商工省デ
ヤルベキモノデハナカラウカト思ヒマス、
專賣ニセラル、カラ、或ハ大藏省ニサレナ
ケレバナラヌト云フコトニナルカモ知レマ
セヌケレドモ、同ジ國家ノ燃料國策トシテ、
其國家ノ基本ノ上カラ考ヘマスレバ、是ハ
商工省デ石炭液化ト同時ニ、ヤハリ此無水
酒精ノ問題モ解決セラルベキモノデハナカ
ラウカト思ヒマス、此點ニ於テ一ハ大藏省
ニ屬シ、一ハ商工省ニ屬スルガ如キハ、燃
料國策上ノ見地カラ考ヘマシテモ、遺憾ノ
點ガアリハシナイカト思ヒマスガ、此點ニ
付テ政府ノ所信ヲ伺ヒタイ

○荒井政府委員 此揮發油ニ「アルコール」
ヲ混入致シマス其主眼トスル所ガ、三善サ
ンカラ御話ガアリマシタ通り、是ハ國防ノ
關係カラ見テモ必要デアリマス、又農村對
策ノ關係カラ見テモ必要デアリマスコト
ハ、申述ベル必要モナイノデアリマス、モウ
一ツノ點トシマシテハ、是ハ國際貸借ノ關
係カラモ、重大ナル影響ガアルト云フコト
モ、是モ問題ハナイト思フノデアリマス、若
シ是ガ計畫通り行キマスレバ、「ガソリン」
ノ輸入量ガ二千四百萬圓位ハ減少スルコト
ガ出來ルト思ヒマス、又農村ニ於テモ莫大
ナル利益ガアルト云フコトモ、疑ナイコト
ト思フノデアリマス、隨テ根本ニ付テハ御
異議ガナイコトデアルヤウニ承知シタノデ
アリマスガ、然ラバ之ヲ何故ニ專賣ニスル
カ、斯ウ云フ御疑問ノヤウニ承知致シマス、
是ハ一方揮發油及ビ「アルコール」ノ混入法
ニ依リマシテ、自動車用ノ「ガソリン」ニ付
キマシテハ、總テ「アルコール」ヲ混入スル
ト云フコトニ、義務ヲ負ハセマスノデ、之
ニ對シマシテ、政府トシテハ一定ノ「アル
コール」ト云フモノヲ、供給シテヤラナケ
レバナラヌコトニナルノデアリマス、又之
ニ對シテ或ル價格ヲ以テ、賣渡シテヤラナ
ケレバナラヌト云フコトニ相成ルノデアリ
マシテ、ソレガ爲ニドウシテモ此專賣ト云
フコトガ必要デアル、是ハモウ之ヲヤラナ
ケレバ、此強制混入ト云フ制度ガ巧ク行カ

スト云フコトニナルト思フノデアリマス、他國ノ例ヲ申ス必要モナイカト思ヒマスガ、強制混入ヲヤッテ居ル制度ニハ、必ず伴ウテ此專賣制度ト云フモノガ行ハレテ居ルノデアリマス、然ラバ其製造ノ問題デアリマス、是ハ民間ノ製造ニ委セルノガ宜シイカ、或ハ政府ガ一部製造スル方ガ宜シイカト云フコトノ問題ニナルノデアリマスガ、先程御話ガアリマシタ通り、是ハドウシテモ一定ノ數量ノ生産ヲ確保シナケレバナラナイノデアリマシテ、又供給價格モ「ガソリン」ノ市價ヲ上ゲマセヌガ爲ニハ、相當ニ安ク供給スルト云フコトノ必要ガアルノデアリマシテ、之ガ爲ニ國庫ハ一部分ノ損失ヲ負擔シテ、之ヲ賣渡スト云フ必要ガアルノデアリマス、隨テ其生産費ヲ安クスルト云フコトガ、固ヨリ必要ニナツテ來ルノデアリマス、然ラバ之ヲ民間事業ニ委シテモ、安クサヘ造レバ宜イノデハナカラウカト云フコトデアリマスガ、「アルコール」ヲ如何ニシテ製造スルカト云フコトニ付キマシテハ、各種ノ方法ヲ研究致シタノデアリマス、特許會社ヲ設立シマシテ、ソレニ補助金ヲ與ヘテ、ソシテ「アルコール」ヲ製造スルト云フコトモ、亦一ツノ方法デアリマス、又農村ノ關係ヲ顧慮シマシテ、産業組合等ニ

於テ造リマシタ「アルコール」ヲ之ヲ集メマシテ、或ハ會社ナリ、政府ニ於テ再蒸餾——無水ニスルト云フコトモ、是モ一ツノ方法デアル、色々研究シタノデアリマスガ、企業的ニ考ヘマスレバ、或ハ會社ヲ拵ヘテ、ソシテ都會ニ於テ全國ノ原料ヲ集メテ、其處デ製造スルスト云フコトモ、ソレモ適當ナ方法トモ考ヘラレルノデアリマスガ、一方ニ於キマシテハ、出來ルダケ產地ニ於キマシテ、農村工業ト云フコトモ加味シテ、此「アルコール」ヲ製造ト云フモノヲヤリタイ、サウ致シマスレバ原料ノ生産關係ニ於キマシテモ、其產地ノ近クニ工場ガアリマスレバ、自分ノ工場デアルト云フ氣分ヲ起シテ、生産計畫ヲ立テルコトガ出來ルト云フ農村對策ノ見地カラ、出來ルダケ地方ニ之ヲ分ケルト云フコトガ、考ヘラレルノデアリマス、隨テソレヲ爲スニ當リマシテ、政府ガ相當ノ資金ヲ投ジテ地方ニ工場ヲ置ク、而シテ一方ニ於テハ原料ノ生産者モ自分ノ工場トシテ、之ニ原料ヲ供給スルト云フコトニ、仕組ヲ作ッテ行キマスレバ、生産關係モ宜シイシ、農村對策モ宜クナイカト云フ見地カラ、是ガ出來テ居ルノデアリマス、然ラバ民間ニ於ケル生産費ト、政府ニ於ケル生産費ト、ドレダケ違フカト云フコ

トデアリマスガ、是ハ政府ニ於テ造ル爲ニ、原料關係ハ圓滑ニ行クト思ハレルト云フ點カラ參ッタノデアリマシテ、若シ民間ニ於テモ同一價值ヲ以テ原料ヲ圓滑ニ生産シテ行クト云フコトガ出來マスレバ、其關係ニ於テハ、吾々トシテハ別ニ政府事業ガ安イト云フコトヲ考ヘテ居リマセヌ、唯民間企業ニ致シマスレバ、之ニ對シテ相當ノ配當ノ保障ト云フコトノ問題モ、起ッテ來ルト思ヒマス、其點ハソレダケノ經費ガ嵩マルト云フコトニナルノデアリマス、之ヲ政府事業トシテヤリマス關係ハ、重キヲ農村對策ト云フコトニ置イタクト云フコトヲ、御諒承ヲ願ヒタイト思フ次第デアリマス、然ラバ石炭液化事業ノ如キハ、是ハ政府ガ出資モシ、民間事業トシテ之ヲ經營セシムル、ソレデアルカラ是ト同様ニ經營サセタラ宜イデハナイカト云フコトデアリマスガ、石炭液化事業ノ如キハ、是ハ非常ニ大企業デアリマシテ、操作モ複雑デアリマス、「アルコール」製造事業ハ原料ガ確實ニ得ラレマスレバ、操作ハ比較的簡單ナモノト考ヘテ居ルノデアリマス、蒸餾機ニ依リマシテ、ズット作業ガ續ケラレマシテ、人モ一工場ニ付テ、サウ多勢使フ仕事デナイノデアリマシテ、是ハ政府ニ於テヤルト云フコトモ、必シモ

困難ナ仕事デアルトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、併シ是ハ民間ノ事業ヲ排斥スル積リハアリマセヌ、適當ナ價格デ、適當ナ企業者ガアレバ、ソレハ十分ニ尊重シテ——委託製造ト云フ途モ開イデアリマスカラ、其方法デヤッテモ宜シイト思ヒマス、又現在ノ企業者、現在ノ製造者ニ對シテハ、其設備ガ不經濟ニナラヌヤウニ、十分ノ製造ヲ委託スルコトニナツテ居リマス、然ラバ是ハ燃料政策トシテ商工省ガヤッタ宜クナイカト云フコトデアリマスガ、勿論燃料政策トシテ決定セラレルノハ、商工省ニ於テ之ヲ決定セラレルノデアリマシテ、「アルコール」ヲ製造スル、之ヲ「ガソリン」ニ混ゼルト云フ方針ハ、商工省ニ於テ決定セラレルノデアリマス、吾々トシテモ能ク之ニ順應シテ、仕事ヲスルノデアリマスガ、此「アルコール」ニ付キマシテハ、御承知ノ通り飲料用ノ「アルコール」モアリマスシ、工業用ノ「アルコール」モアリマス、是等ノ取締ノ關係カラ、一括シテ扱ハナケレバ非常ニ不便ナ點ガアルノデアリマシテ、一々稅務官吏デナイ專賣官吏ノ、立會ヲ要スルコトガ多イノデアリマス、是ガ更ニ二ツノ省ニ分レルト、其關係モ面倒ニナリ、製造者ノ方ニモ非常ニ不便ヲ來スト云フコトモ、起

ルカト思フノデアリマシテ、大藏省ニ於テ
統轄スルト云フ方ガ宜シクナイカト云フコ
トデ、決定致シテ居ル次第デアリマス

○三善委員

大體ハ分リマシタガ、主トシ
テ問題トセラレテ居ルノハ、特ニ專賣ニシ
タノハ、農村對策ニ重點ヲ置イタト云フコ
トニ、結論ハナルヤウデアリマス、農村對
策ニ重點ヲ置イデ、成ベク甘藷ノ栽培ノア
ル所ニ工場ヲ設備スル、サウシテ農村ヲシ
テ恰モ自分ノ工場デアルト云フヤウナ思ヒ
ヲ起サシメテ、サウシテ原料ヲ供給スルト
云フコトニナレバ、隨テ非常ニ製造ニモ便
利ガ好イト云フヤウナ意味ノ、御意見ノヤ
ウデアリマシタガ、私ハ一體農村對策ト
云フコトニ付テハ、必シモ農村ニ小サイ工
場ヲ置クコトガ、農村對策トハ考ヘテ居リ
マセヌ、或ハ是ハ意見ガ違フカモ知レマセ
ヌガ、昨日私共ガ聽キマシタ所ニ依リマス
レバ、一工場ヲ作ラレルニハ、労働者ト云
フモノハ僅ニ三十何人、四十人位ノ人間ヲ
使ハレルニ過ギナイノデアリマス、今日ノ
農村ノ過剩勞力ト云フモノヲ何處ヘ持ッテ
行クカト云フコトニナリマスレバ、サウ云
フ工場ニ、工場労働者トシテ使用スルコト
モ宜イデセウケレドモ、ソレハ僅ニ一工場
ヲ作ラレテ四十人ノ人間デアリマスルカ

ラ、是ハ餘剩勞力ヲ利用スルト云フ方面カ
ラ考ヘテモ、左程ノ效果ハナカラウカト思
フ、農村ノ今日困難トシテ居リマス所ノ餘
剩勞力ヲ何處ヘ持ッテ行クカト云フト、所謂
多角形農業ニ持ッテ行カナケレバナラヌ、今
回ノ多角形農業ノ一部トシテノ甘藷ノ栽培
ノ如キハ、最モ便利ダ、甘藷ヲ栽培シ、之
ニ或ル程度ノ加工、所謂諸ヲ切ッテ乾燥スル
迄ガ、農村ノ一ツノ工業ダト私ハ見テ居ル、
小サク刻シテ乾燥スルマデガ仕事デアル、
生諸ノ製造ハ容易デアリマセウケレドモ
ガ、是ハ長期ノ貯藏ガ出来マセヌ、恐ラク
乾燥諸ヲ御使ヒニナルダラウガ、ソレヲ乾
燥スル所マデガ農村ガヤルコトデ、是ハ農
村ノ家内工業ノ一部ト、私共ハ考ヘラレル
ト思フ、サウ致シマスルト農村トシテ考ヘ
マスルナラバ、農村ニソシナ小ッボケナ四十
人程度ノ工場ヲ御作り下サルヨリモ、寧ロ
是ハ必要ナ場所、最モ集散上適當ナ所ニ御
作り下サテ、サウシテ大規模ノ工場ガ宜イ
ト思フ、大規模ノ工場ヲ御作り下サテ、生
産「コスト」ヲ成ベク下ゲルト云フコトガ、先
決問題デヤナカラウカト思フ、二萬石ノ無
水酒精ヲ御作り下サルノト、例ヘバ十萬石
ナリ二十萬石ナリヲ御作り下サルノハ、其
生産「コスト」ノ點ニ於テ、非常ニ違ッテ來

ル、サウスルト其生産「コスト」ガ下リマス
レバ、農村ノ原料ヲ高ク買ッテ宜イ、生産
「コスト」ガ高ク付ケバ、農村ノ原料ハ隨テ
安ク買ハナケレバナラヌ、斯様ナコトニナッ
テハ農村ノ對策トシテ重點ヲ置カル、コト
ガ、却テ反對ノ結果ヲ生ジハセヌカ、是ガ
私共ノ非常ニ變フル點デアリマス、獨リ農
村ニ工場ヲ持ッテ行ツカト言ウテ、農村
ハ必シモ喜ブモノデナイト思ヒマス、私ハ
農村デ造ツタ品物ヲ高價ニ買ッテヤルト云フ
コトニ依ッテ、農村對策トシテ、又農村更
生ノ途ガ開レルト思ヒマスガ、此點ハ政府
ニ於テハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレルカ、
ソシナ小ッボケナ工場ヲ御作り下ッテ、生産
原價ヲ高クシテモ、其方ガ農村ノ對策上
宜シイト云フ御考ヲ御持チニナルカ、又ソ
レニ對シテ如何ナル調査ヲナサツタノデア
ルカ、此點ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○荒井政府委員

洵ニ御尤ナ御質問デアリ
マス、農村ニ於テ多角形農業ヲ營ム、ソ
レガ爲ニハ甘藷栽培ヲ一ツノ要素ニ加ヘル
ト云フコトハ非常ニ宜シイ、而モ是ハ乾燥
諸ヲ或ル程度マデ使ハナケレバナリマセヌ
カラ、ソレヲ乾燥スルト云フコトニ於キマ
シテ、農村工業モ起ルノデハナカラウカ、
生産ノ關係ニ付キマシテ、若シ生産費ガ安

ク付キマスレバ、原料ヲ高ク買フト云フコ
トモ出來ルデアラウ、斯ウ云フコトハ洵ニ
御尤ノコト、思ヒマス、併シ農村ニ於キマ
シテ、原料モ或ル程度マデ供給スルガ、其近
クニ工場ガアルト云フコトガ、非常ニ要望サ
レテ居ルヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、
是ハ唯生産費ノ關係カラノミモ考ヘラレナ
イカトモ思フノデアリマスガ、又運賃等ノ
關係モ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、是
ハ色々ノ關係ヲ考慮シテ、餘リ小規模ノモ
ノデアリマスレバ、餘程生産費ガ高クナリ
マスカラ、是ハ考ヘモノデアル、中規模ノ
モノデ二萬石程度ノ單位ニ致シマスレバ、
十萬石ニシタ時ト生産費ニ於テドウ云フ違
ヒガ起ルカト言ヘバ、人件費ガ主ニ違フト
云フコトニナルヤウデアリマス、ソコデ人
件費ノ差異デアリマスガ、是モ工場ガ澤山
出來マスレバ、或ル工場ハ一ツノ分工場ノ
如クスルト云フコトニ依リマシテ、出來ル
ダケ人件費ノ節約ヲ圖ル、サウスレバ、其
點ニ於テ餘程生産費ノ節約ト云フコトモ、
考ヘ得ルト思フノデアリマス、是ハ御意見
洵ニ御尤デアリマスルガ、併シヤハリ農村
ニ近ク、農村ト申シマシテモ本當ノ産地ニ
ナリマスカ、或ハ其近所ノ都市ニナルカハ、
マダ別問題ト致シマシテ、相當ニ近クニ行ッ

タ方、産地ノ關係カラ見て、心理的ニモ宜シクナイカト、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○平川委員長 一寸三善君、今ノアナタノ

説ハ大變農村政策トシテ首肯セラレル説ト思ヒマスカラ、之ニ付テ農産課長ノ説明ヲ聽イテハドウデアリマセウカ

○三善委員 ドウゾ御願シマス

○間部農林技師 「アルコール」ノ製造工場

ガ、計畫的ニ地方ニ成ダケ多ク分散シマスト云フト、農村トシテ先ヅ利益ナノハ運賃關係ト思ヒマス、成ダケ最寄リノ工場ニ原料ヲ運ブコトガ出来マスト、ソレダケ運賃

ガ助カル譯デアリマスカラ、ソレハ結局原料ヲソレダケ高ク買フコトニナルト考ヘマス、ソレカラモウ一ツハ値段ノ點デアリマス、政府ガ自ラ製造スルト云フコトニナリ

マスト、其値段ハ謂ハミ、公定致サナケレバナラヌト思ヒマス、ソレハ色々ナ點ヲ考慮致サナケレバナラヌノデアリマスガ、農

家ノ立場ニ立ッテ其値段ガ公正デナケレバナラヌ、詰リ生産費ヲ少クトモ償フヤウナ

値段デナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ、考慮シテ決メルコト、思ヒマス、是ガ民間ノ事業會社デ製造サレル場合デアリマスト、買入ノ方法等ニ依リマシテ幾分値段ガ

叩カレルヤウナコトガアル、私共其點ハ政府ノ事業トシテ行ハレルコトガ、農村ニ取ッテ非常ニ宜シイ點デハナイカト考ヘテ居リマス

○平川委員長 三善君ノ今ノ質問ハ、澤山

ノ工場ヲ拵ヘルヨリモ寧ロ工場ヲ少ナクシテ、サウシテ「コスト」ヲ下ゲテ原料ヲ高ク買フコトガ、農村對策トシテ最モ適當デヤナイカ、ソレニ對スル御答辯ヲ……

○間部農林技師 ソレハ前段ニ私申上ゲタ

積リデアリマスガ、成ダケ工場ガ分散シテ居ルコトガ、運賃關係デ宜イノデヤナイカト思フノデアリマス

○三善委員 先程分散シテ造ルコトハ、農

村モ希望シテ居ルト云フコトヲ言ハレマシタガ、是ハ恐ラク十分農村ノ人モ知ラナイカラダラウト思ヒマス、何デモ工場ガ一ツ出来サヘスレバ宜イト云フノガ、農村ノ非

常ニ希望シテ居ル所デアル、政府ノ、或ハ農林省デ御作りニナル所ノ米穀倉庫トカ、

或ハ葉煙草ノ乾燥場トカ、何デモ地方ニ作リサヘスレバ宜イ、是ハ地方トシテハ當然ナ希望ダト思ヒマス、農村ハ工場ガ出来レバ莫ク高ク賣レルカラト云フノデ、農村ガ希望シテ居ルノハ、サウ云フヤウナ形カラ希望シテ居ル、私ハ昨日アナタノ説明ヲ聽

キマスト、四十人位ノ工場トカ云フコトデスガ、四十人位ノモノナラバ要ラヌト云フコトヲ聞キマシタ、内容ヲ聽キマスレバ、農村ノ爲ニ善イ惡イト云フヤウナコトハ、

是ハ別問題トシテ、サウ御希望サッテ居ルアナタノ期待ニ反シハシナイカトモ考ヘラレル、今農林省方面カラ御答下サツタ運賃關係ガアルカラ、著ノ値段ハ高ク賣レル、斯ウ言ハレマシタガ、唯運賃ダケヲ御覽ニ

ナツタノデ、凡ソ生産費ハ運賃モ含ンデ居テ販賣スルマデガ一ツノ所謂事業デナケレバナラヌト思フ、其生産シテ販賣スル、生

産ハ田舎デアル、販賣ハ主トシテ中央ノ都市、田舎ニハ消費ハシマセヌ、販賣ハ中央デシナケレバナラヌ、生産ハ田舎デシテ中央ニ持ッテ來ナケレバナラヌ、其生産シタ所

ノ品物ヲ又運搬スルコトモ考ヘナケレバナラヌ、アナタハ唯葉ヲ運搬スルコトノミヲ

御考ニナッテ居ルケレドモ、是ハ生産シタモノヲ都市ニ運搬スルコトモ考ヘナケレバナラヌト思フ、ソレデ初メテ生産費及此企業ニ對スル所ノ經濟關係ト云フモノハ、ソコデ初メテ決ッテ來ルト思フ、唯、アナタノ言フ側ニ置クト、運賃ガ掛ラヌカラ高ク買ヘルダラウ、ソレハ政府デ公定シテ買ヒマ

スカラ、必ズシモサウ云フ風ニ行カヌト思フ、生産費ガ安ク行ク、所謂經濟ガ立ッテ行ケバ政府デ高ク買ッテヤル、決シテ側ダカラ高ク買フ、一方デハ安ク買フ、斯ウ云フ

アナタノ理窟ハ當ラナイ、何カ最後ニハ民間デスルト値段ガ叩カレルト云フヤウニ言ハレマシタケレドモ、是ハ別ノ機會ニ申上

ゲマスガ、或ハ臺灣デハ砂糖ヲヤッテ居ル、或ハ麥酒會社ガ麥酒ヲヤッテ居ル、製絲工場ガ養蠶家ヲ相手ニシテ製絲ヲヤッテ居ル、民間事業ハ悉ク何モソシナモノデヤアリマセ

ヌ、ヤハリ民間ノ會社及此原料ヲ生産スルモノトハ、相提携シテ行カナケレバ出来マセヌカラ、アナタノ言ハレルヤウナ、サウ云フ事實ノアラウ筈ハアリマセヌ、偶ニ起ル場合ハアルカモ知レマセヌガ、ケレドモ今日ノ日本ノ總テノ民間工業ヲ考ヘテ御覽

ナサイ、製絲デモ、臺灣ノ砂糖會社デモ、麥酒會社デモ、總テ特定ノ品物ヲ民間ニ作

ラシテ、サウシテ原料ノ生産者ト、ソレヲ加工スルモノトハ、オ互ニ提携シテ、其工業發展ノ實ヲ擧ゲテ居ル、是カラ考ヘテモ、ソシナコトデ之ヲ官營ニスルトカ何トカ御考ニナルコトハ、非常ナ間違ヒデアル、其點ハ十分御考ヘ直シテ下サラヌト、出来ナイト思ヒマス、ソレデ私ハ農村對策トシテ

考ヘマス時ニ於テ、是ハ其點ニ付テ申上ゲマスレバ、意見ノ相違ニナリマセウ、併シ是ハ大キナ眼カラ一ツ御考ヘ下サレバ——小サイコトカラ考ヘテ、地方ニ分散スレバ地方ハ悦ブダラウ、ソシナコトデ御考ヘニナッタラ、非常ニ見當違ヒダト思ヒマスルガ、是ハ生産「コスト」ノ點ヲ、若シ御調ベニナッテ居ラレルナラバ、御調ベニナッタコトヲ一通リ御説明願ヒマス、生産シテ之ヲ市場ニ持出シテ、消化セラレルマデハ專賣ノ事業トシテ、御與リニナルノデアリマスカラ、ソコマデモ一貫シタル生産費ニ販賣費等モ加ヘテ見タ所謂經濟價值、ソレニ對シテ地方ニ置クノト、大キナ工場ヲ作ルノトハ、ドレダケノ差ガアルカ、是ハ少クトモ研究シナケレバナリマセヌガ、唯地方ニ分散分散ト言ッテ、經濟ヲ無視シテヤルト云フコトハ出来マセヌカラ、大企業ヲ目論ム上ニ政府トシテ當然考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、假想シタル製造場ヲ何處ニ設置スルカト云フコト、大工場ヲ作ル場合ハドウト云フコト、二様ニ考ヘテシナケレバナラヌ、一方面ノミヲ考ヘテ直チニ專賣ダ、コンナコトヲ仰セラレルノハ、輕率モ甚シイト思ヒマス、其點ニ付テハ御調ガアッタナラバ御説明願ヒタイト思ヒマス

○荒井政府委員 是ハドノ位ノ規模ノ工場ニスルカト云フコトニ就テハ、十分研究ヲ致シタルデアリマス、併シ若シ地方ニ分散主義ヲ採レバ、大體二萬石ガ最低限度デアルト云フ結論ニナッテ居ルノデアリマス、併シ是ハ産地ノ狀況ニ依リマシテ、或ハ六萬石ナリ十萬石ノ工場ノ出来ル場所ガアルト思ヒマス、唯或ハ東京ナリ、或ハ大阪ナリト云フ所ニ持ッテ來テ、全國カラ原料ヲ集メルト云フコトモ、一ツノ考デアリマス、主トシテ運賃關係、都市ニ於テハ石炭等ニ於テ非常ニ運送モ樂ノ點モアリマス、全體材料ヲ何處カラ集メルト云フコトニナルト、少クモ私ハヤハリ原料ノ豐富ナル地方ニ置ク方ガ、今ノ程度ノ問題ハアリマスケレドモ、經濟ニ行クト云フ結論ニナッテ居ルノデアリマス、後ハ「アルコール」トシテ今度ハ運搬シテ參ルノデアリマス、其運搬モゴザイマスガ、原料トシテ運搬スルカ、「アルコール」トシテ運搬スルカト云フ經費ノ問題ニナルト思ヒマス、ソレカラ工場ノ規模ニ依ッテ異ナルノハ、或ル程度ニナリマスレバ、主トシテ人件費ノ問題ト云フコトニ歸著スルト思ヒマス

○三善委員 ソレデハ私ハ御聽キシマシマスガ、分散主義ト先刻言ハレマシタ、是ハ百六十萬石造ルナラバ一箇所二萬石トシテ八十箇所、併シソレハ必ズシモ八十箇所デモナイ、或ハ二萬石ヲ四萬石ニスル場合モアルカモ知レヌケレドモ、少クモ先刻アナタノ言ハレル農村對策トシテ、成ベク分散主義ヲ採ルト言ハレルナラバ、先程ノ説明カラ考ヘレバ、ヤハリ二萬石程度ノ工場ヲ全國的ニ分布スル、斯ウ云フ風ニ聞エル、或ハ特殊ノ原料地帯ニ於テハ、或ハ四萬石ニサレル場合モアリマセウケレドモ、農村對策トシテ普ク之ヲ分散スルト云フコトカラ考ヘマスレバ、ヤハリ二萬石程度ノモノヲ、大體御作りニナルト云フ御方針ダト思フ、ソコデ勿論之ヲ四萬石ニサレル場合モ幾ラカアリマセウ、併シソレハ極ク少數デアッテ、大體ハ二萬石ガ標準ニナルコト、思ヒマスカラ、サウシテ先ヅ原料ノ產地ハ農林省ノ方デ調ベテ居ラレル、ドノ縣ニハドレダケ出ル、ドノ縣ニハドレダケ出ルト云フコトハ、材料ヲ出サウト言ハレルガ、原料ノ產地ハ今日分ッテ居ラナケレバナラヌ筈ト思ヒマス、原料ノ產地ガ分ッテ居レバ、隨テソコニ工場ヲ設置ニナル場所モ自ラ決ッテ來マス、其製造ノ工場設置ノ場所ト、若シ之ヲ十萬石ナリ、十五萬石ヲ單位トシテ全國ニ十箇所内外ノ工場ヲ作ッテ場合ヲ

假定シテ、サウシテ其經濟價值ヲ御調ベ爲サツタカ、御調ベニナラズシテ唯農村對策トシテ地方ニ分散スレバ宜イ、此見地カラノミ御考ヘニナラズニ、此方面カラモ御考ヘニナル必要ガアリハシナイカ、勿論原料ノ運搬、或ハ製品ノ運搬、或ハ人件費等ガ、生産サレテ市場ニ出スマデノ費用ニナッテ參リマセウ、其他或ハ之ニ對シテハ、相當ノ石炭モ要ル、サウ云フヤウナ製造ニ要スル所ノ色々ノモノガ要リマセウガ、要スル私ノ言フ所ハ、生産シテソレヲ市場ニ出スコトガ、一ツノ一貫シタル仕事トシテ、專賣ノ仕事トシテ御考ヘニナル場合ニ、大工場ト小工場ト云フコトヲ比較爲サツタカドウカ、比較爲サラズシテ、一方ノミヲ御考ヘニナラズニ、其比較ヲサレル必要ガアリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋スル譯デ、少クモ政府ノ方デハ、假想ノ工場ト云フモノハ何處ニカナケレバナラヌ、唯地方ニ置イテ呉レト云フコトカラ、其處ニ運動ガアルカト云フコトデ、何處ニデモ持ッテ行ク、コンナ詰ラナイ考デオキデニナルコトハ、以テノ外デアアル、毅然トシテ動カスベカラザル政府ニ一定ノ計畫ガナケレバナラヌ、少クモ斯ウ云フコトヲ五箇年計畫デヤッテシマフト云フ場合ニハ、今カラ計畫ヲ立

デナケレバナラヌ、行當リ、バツカリデ其都
度工場ヲ決メテ行クトカ何トカ、コンナコ
ト御考ニナレバ國防國策ハ出來マセヌ、
日本ノ國防國策ヲ立ツル上ニ於テハ、モット
毅然トシテ動カスベカラザル所ノ態度ヲ以
テ、前途ノコトヲ考ヘテヤラナケレバナラ
ヌ、先程アナタハ現在バカリデハイカヌ、
將來ノコトモ考ヘナケレバイカヌモノダト
云フコトヲ言フタ、ソコデ將來ノコトヲ考ヘ
テ置カナケレバナラヌナラバ、其考ヲ何處
ヘ御置キニナツタ、ソレヲ御考ニナツテ之ニ
對スル優劣ノ差、ソレヲ一ツ私ノ安心スル
ヤウナ御答辯ヲ願ヒマス

○荒井政府委員 勿論將來ノコトヲ考ヘマ
シテ、ドノ方面ニ於テドノ位ノ原料ガアル、
隨テ之ニ依存シテ行ケバ先ヅ内地ニ於テ百
六十萬石位ノ「アルコール」ガ出來ルト云フ
計畫ヲ、十分立ッテ居ルノデアリマス、併シ
是ハ今コ、デ御示シマスルニ致シマシテ
モ、先程カラ仰シヤルヤウナ、所謂ソレハ
机上ノ計畫デハナカラウカト云フヤウナコ
トニナルト思ヒマス、ソレヨリモヤハリ現
實ニ茲ニ是ダケノ増産計畫ガ出來ル、是ハ
大體七年ノ計畫デアリマスガ、今年ハ此地
方ニ是位ノ工場ヲ置クト云フコトハ、計畫
トシテハ將來モ見ルコトガ宜シイノデス

ガ、併シ現實ノ問題トシテ、茲ニ計畫ヲ實
行シテ行ク上カラ見レバ、或ハ毎年決メテ
行クト云フ方ガ、確實デハナカラウカ、斯
ウ考ヘテ居リマス、隨テ餘リ假想的ニヤル
コトハ如何カト思フノデアリマス、又私ト
致シマシテハ——私ト申シマス何デス
ガ、吾々ト致シマシテハ、二萬石ノ工場ヲ
全部希望ノ所ヘ置キマス云フヤウナコト
ハ、考ヘテ居ラスコトハ申スマデモナイコ
トデアリマシテ、ソレハ土地ニ應ジタル、
相當經濟的ニモ立チ得ル工場ヲ建テルト云
フコトデ、兩方ヲ折衷シテ考ヘテ行クヨリ
致方ナイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、
尙、先程地方デ希望シテ居ルト云フコトヲ
言フタト云フコトニ依ッテ、何カ誤解ガアル
ト思ヒマスガ、陳情ガアル所ヘ設ケルト云
フコトデハナイノデアリマス、サウシタ方
ガ生産關係カラ見テ、適當ナル方法デ、滑
カニ行クノデナイカト云フコトヲ、申上ゲ
テ居ル次第デアリマス

○三善委員 是以上申シマスコトハ、モウ
議論ニ互ルト思ヒマスカラ、遠慮シタイト
思ヒマスガ、サウスルト政府ノ方デハ、唯
小サイ工場ヲ分散スルト云フコトノミヲ考
ヘテ、大キナ工場計畫ニ付テハ研究モシナ
イシ、又將來ソレニ對シテハ研究スル必要

モナイ、所謂小サイ工場ヲ分散主義一方デ
行ク、斯ウ云フコトニ承ッテ宜シイト思ヒマ
スガ、又只今机上ノ空論デモイカヌカラ、
ソシナ七年計畫ノ奴ヲ今カラ先ノコトヲ、
サウ頭ニ描イテハ居ルケレドモ、ソレハサ
ウ發表モ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ御意見
ノヤウデアリマシタガ、少クトモ私ハ先刻
言ヒマスヤウニ、机上ノ空論デハナイト思
ヒマス、七箇年デモ五箇年デモ計畫ヲ爲サ
レル場合ニハ、凡ソノ見當ト云フモノハ自
ラ付イテ來マス、生産原料ノアル所ハ、モ
ウチヤント決ッテ居ルノデアリマス、ソレダ
カラソレガ農林省ト打合せニナツテ決ッテ居
ル以上ハ、隨テ或ハ其附近ノ事情トカ或ハ
交通系統トカ御覽ニナレバ、凡ソドノ縣ニ
ハドウト云フ位ノコトハ、是ハ當然分ルト
思フ、私ハドノ町ドノ村ト云フコトヲ申ス
ノデアリマセヌ、凡ソノ見當ト云フモノ
ハ付クベキ筈デアリマス、其假想ノ、アナ
タノ頭ノ中ニ描イテ居ラレルノト、大工場
ヲ造ッテヤラレル場合トノ比較ヲサレタカ
ト云フコトニ付テ、御覽キシマシタガ、其
點ハ一向觸レテ居ラス、恐ラク政府ハ一方
ノ小工場分散主義ト云フコトノミヲ御考ヘ
ニナツテ、ソシナ生産費ニ對シテ餘リ御考ガ
ナカッタト、斯ウ見テ宜シイノデスカ、何カ

比較對照サレタモノガアリマヌナラバ、ソ
レヲ御示シテ願ヒタイ、又今後ニ比較シナ
ケレバナラヌト云フ御考ガアルナラバ、ソ
レニ對シテドウ云フコトヲ中心ニ御計畫ニ
ナル積リデアアルカ、ソレモ伺ッテ見タイト思
ヒマス

○荒井政府委員 分散主義ニ偏スルト云フ
コトハ考ヘテ居リマセヌ、先刻ノ御話ノ際
ニ度々申シタ通り、ソレハ或ル地點ニ於テ經
濟的ニ相當ノ材料ガ集マレバ、其處ニ相當
ノ大キナ工場ヲ置クト云フコトハ、申シテ
居ルノデアリマス、ソレカラ二萬石程度ノ
モノト、或ハ六萬石程度ノモノ、十萬石程
度ノモノガ、生産費ニ於テ十分比較研究シ
タカト仰シヤイマスガ、是モヤツテ居リマ
ス、二萬石、四萬石、十萬石ノモノト云フ
風ニ考ヘテ居リマスガ、勿論ソレハ大キナ
工場ヲ設ケレバ、ソレニ伴フ利益ハアルノ
デアリマス、併シソレハ原料關係等モ考慮
シ、其運賃等モ考慮シテ考ヘナケレバナリ
マセヌノデ、何處ニ幾ラノ、十萬石ナラ十
萬石ノ工場ヲ設ケタラ幾ラ、二萬石ノ工場
ヲ設ケタ場合ハ幾ラト、斯ウ云フ現實ノ比
較ニナルト思フノデアリマス、抽象的ナ問
題トシテハ、十萬石ニスレバ人件費ガ安ク
ナルコトハ明デアルト思ヒマス、十分ニ研

究ハ致シテ居リマス

○三善委員 抽象的ノ御研究ヲ爲サタナ

ラバ、其御研究ノ結果ヲ御發表ヲ願ヒマス、今日デ出来マセヌナラバ、是ハ材料トシテ要求致シテ置キマスカラ、後デ書面ヲ以テ其御發表ヲ御願シテ置キマス、要スルニ私共ガ政府事業ガ惡イ、惡イト云フノハ其生産費ガ高ク付クト云フ其邊ノコトヲ指スモノデ、企業家デアッタナラバ、何處ガ一番生産費ガ安ク付クドラウト云フヤウナコトヲ、頭ニ入レテ考ヘルノデス、政府事業ダカラ何處ヘデモ漫然造リサヘスレバ——唯分散主義ニ偏シハシナイト言ハレルケレドモ、先刻言ハレタコトハ分散主義ニ決ッテ居ル、農村對策上小イ工場ヲ造ルト云フコトハ分散主義デス、ソレ以上ノ分散主義ハナイ、一萬石ヤ五千石ヲ造レトハ言ヒマセヌガ、ヤハリ二萬石ヲ造リ、場合ニ依ッテハ四萬石ヲ造ル場合モアリマセウガ、先刻言ハレタコトニ依ッテ、分散主義ト云フコトハチヤント分ッテ居ル、併シ是以上申上ゲルコトハ議論ニナリマスカラ申シマセヌキマス

○平川委員長 三善君ノ質問ハマダ長ク續

キマス

○三善委員 御迷惑デスケレドモ、出来マスレバ一日カ二日カヤラシテ貰ハヌケレ

バ、出来ヌト思ヒマスガ、ソレハ皆サント御相談ノ上ニ致シマス

○平川委員長 ソレデハ今日ハ時間モ来マシタカラ、是デ散會シタイト思ヒマスガ：

○東條委員 チョット資料ヲ要求致シマス、

道府縣別甘藷馬鈴薯ノ作付反別ト生産額、ソレヲ一表ニシテ貰ヒタイノデス、ソレカラ澱粉ノ生産額ト甘藷馬鈴薯ノ生産額ノ中カラ澱粉ニ使ハレマシタ量ヲ差引イタ殘額、是等ヲ道府縣別ニシテ一表ニ纏メテ戴キタイノデアリマス、又甘藷馬鈴薯ノ耕作地ニ適シタ既墾反別及ビ將來開墾スベキ見込反別、尤モ是ハサウ正確ナモノハ困難ドラウト思ヒマスガ、是ダケヲ一ツ一表ニシタモノヲ頂戴シタイノデアリマス、ソレカラ今ノ三善君ノ質問ニ關聯シテ一寸伺ッテ置キタイノデアリマスガ、農村對策トシテ云々ト云フ御話デアリマシタガ、御承知ノヤウニ北海道ノ或ル地方デハ、薄荷ヲ農家ガ自分デ原料ヲ耕作シテ、ソレヲ蒸餾致シマシテ、取卸油ニシテヤッテ居リマス、農村ノ工業化ト云フ上カラ行ケバ所謂工場ヲ拵ヘテ、農村ノ子弟ヲ使フト云フヨリモ、農家自身ガ自分ノ耕作シタモノヲ工業的ニ處理スルト云フコトガ一番宜イノデアリマシテ、三善君ノ御話ノ、生デ乾燥スル、蒸シテ乾燥スルト云フコトモ、ヤハリ一種ノ工業化デアリマスガ、モウ一步進ンデ自分ノ所デ蒸餾シテ、或ル程度ノ酒精ニシテ出スコトモ、確ニヨリ宜キ工業化デアルト思フ、蒸餾ト云フコトハ非常ニ難カシヤウニ御考ニナルカモ知レマセヌガ、又設備ガ不完全ナ爲ニ不經濟カモ知レマセヌガ、要スルニ薄荷ノヤウナ高價ナ非常ニ揮發性ノモノヲ、ソレコソ目ニ一丁字モナイ、技術モナイ北海道ノ農民ガ、自分ノ家デ蒸餾シテ出シテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デスカラ農村對策トシテ考ヘマスナラバ、サウ云フコトガ出来ルヤウナ方法ヲ考ヘラレルコトガ、一番宜イト思ッテ居リマス、後デ又能ク伺ヒマスガ、サウ云フ方面ヲ御調査ニナッタコトガアルカナイカダケ、此場合關聯シテ伺ッテ置キタイ

○荒井政府委員 其點ハ十分研究致シタノデアリマス、若シソレガ出来マスレバ、本當ノ農村對策ト云フ關係カラ宜シイノデアリマスガ、「アルコール」ハ御承知ノ通り小規模ニヤリマス、取締ノ關係ガ中々面倒ダト思フノデアリマス、三十四五圓位ノ原價ノモノニ二百圓位ノ税金ガ課カルノデアリマスカラ、其取締ハ餘程嚴重ヲ要スルシ、

併シソレガ爲ニ非常ニ煩瑣ナコトニナッテモ、是亦工合ガ惡イコトデアリマス、モウ一ツハ熱ノ利用ノ點デアリマスガ、是ガ若シ經濟的ニ行ケバ、一方ノ煩瑣ヲ忍ンデモ是ハヤル必要ガアルカト思ヒマスガ、今日ノ所デハ經濟的ニハ非常ニ不利デアラウト云フコトニナッテ居リマス、尙ホモウ少シ研究ヲ致シタイトハ思ッテ居リマス

○平川委員長 今日ハ午後モヤリタイ積リデアリマシタガ、委員室ガ滿員デ今日モ明日モ午後出来ナイ爲ニ、明日午前ダケヤリマス、十時カラ時間勵行デヤラウト思ヒマスカラ、其積リデ御出席ヲ願ヒマス、本日は是デ散會致シマス

午後零時二十五分散會